

大野小だより

2023年9月27日(水)
大野町立大野小学校
第7号

2学期は、行事を通して大きく成長していきます

校長 所 久寛

2学期が始まって1か月がたちました。子供たちは、夏休み明けに一人一人が自分の決めた目標やめあてに挑戦したり、仲間の活動に協力したりして、日々成長しています。2学期は大きな行事が複数あります。子供たちは、行事を通して2学期大きく成長していきます。

<運動会に向けて練習に励んでいます>

2学期に入って1か月が過ぎようとしている今も暑い日が続いています。そのような中で子供たちは、暑さに負けず元気に生活をしており、運動会練習も始まり、子供たち一人一人が競技練習や応援練習などに真剣に取り組んでいる姿はとても素敵です。

学校といたしましても、気温、湿度を常に確認するとともに、熱中症指数(WBGT値)が31を超えた場合、運動場や体育館での活動を原則中止しています。31を超えていない場合も、練習内容を減らしたり休憩や水分補給を適切に行ったりするなど、子供たちの体調管理を大切にしています。

運動会までに、必要な練習すべてを行うことができませんが、子供たちは全力で練習に励んでおりますので、ぜひその成果を当日グラウンドでご覧ください。

WBGT値	判断基準	具体的な活動制限
31以上	危険	原則活動中止
28-31	厳重警戒	激しい活動中止
25-28	警戒	積極的に休憩
25未満	注意	積極的に水分補給

【熱中症指数表】



【1年生玉入れ練習の様子】

<不審者対応訓練>

15日(金)2時間目、揖斐署の警察官2名をお招きし、不審者対応訓練を実施しました。警察官の1名に不審者役となっただき、校舎内に不審者が侵入した時の子供たちの対応方法を学びました。

学校によって不審者が侵入した時の子供たちの対応は様々ですが、大野小学校は「教室のドア鍵を施錠し、ドア付近に机椅子でバリケードを組み、ドアガラスから見えない位置で身を隠す」という方法をとっています。子供たちと不審者との接触を可能な限り避けるとともに、さすまたをもった職員が不審者と対応しながら、大野交番から警察官が到着するのを待ちます。

子供たちは、不審者情報の放送を聞いてすぐに教室の鍵を閉め、バリケードを作って身を隠し、不審者役との接触を避けることができました。実際に不審者役が侵入した5年1組の子供たちも、不審者役との距離を適切に取りながら教室から脱出し、避難することができました。不審者役を担当した警察の方からは、「5年1組のみなさんは、うまく私と距離を取って逃げる事ができました。自分の身をしっかりと守っていました。他教室のみなさんは、ドア鍵を閉めてバリケードを作り、窓から見えない位置に身を隠していたので、教室に入れませんでした」と褒めていただきました。

実際に不審者が侵入したとき、必ずしも訓練どおりにいくとは限りませんが、いざという時に自ら対応ができるよう、引き続き訓練を重ねてまいります。



【不審者対応の様子】

<児童のみなさんへ：2学期が始まって、「苦しいな」と思ったら>

2学期が始まりました、みなさん、困っていること、不安なことはありませんか。もし困っていることなどがあれば、決して一人で抱え込まず、保護者のみなさんや学校の先生、SC(スクールカウンセラー)、S相(スクール相談員)などにぜひ相談してください。困ったら決してひとりで抱え込まず、だれにでもよいので必ずSOSを出して教えてください。みんな、あなたの味方です。